


Universit
大
学

■ シラバス検索 授業内容

STEP-1 シラバス検索TOP

STEP-2 検索結果一覧

STEP-3 授業内容

選択した授業科目の内容です

平成25 年度 ↓操作ボタン

授業科目名 : サウンドデザイン演習
英文科目名 :

授業コード : 2S271

開講期間	配当年	単位数	授業形態
通年	2年次	2単位	演習
担当教員			
季里、石井拓洋			
杉並校地	2010～年度入学生対象		メディア表現（専門・選択必修）

科目キーワード	音楽、映像、物語、映画、作曲、音楽制作、音楽史、美学																								
授業内容 1	<p>音楽は映像の中にも生きてきた。たとえ無声映画の時代といえども、映像と音楽は常に共に存在し多くの出来ない要素であったといえる。しかしながら、その種の音楽に対する批評的聴取の機会は極めて少ない。</p> <p>そこで本講義は〈物語映像における音楽〉に対する意識を高めることを目的とするものである。その手段として各日程内では〈講義〉と〈制作〉を平行させ、その創発の効果を期待して行う。まず〈講義〉では、ここで対象とする音楽のルーツを音楽史に求め、先人達の物語・舞台・映像における音楽に対する取り組みを紹介する。また、多くの名作を題材としながら、歴史的・美学的視点からの考察を含めたい。一方〈制作〉では、映像に対するための自らデザインした〈簡単な音楽の制作〉を行う。ここでは音楽制作環境〈DAW〉Digital Audio Workstation の操作方法や平易な音楽理論を学びながら、学生は課題として提示される〈映像素材〉に対して、それに付するための簡単な音楽を作り出していく。</p> <p>最終的に受講者が提出すべき課題作品は4つである。それらは、それぞれ異なる手法やコンセプトに基づいて制作された自作の音楽を付した、4つの動画ファイルである。</p>																								
授業内容 2																									
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>第1週</td> <td>【講義】 物語映像において何故音楽が必要か 【演習】 音楽制作環境(DAW) "Logic"の基本操作、楽譜の読み方について</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>【講義】 古代ギリシャの音楽：「幻の規範」または学問としての音楽 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (1)</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>【講義】 中世の音楽：単旋律から複旋律への試み 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (2)</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>【講義】 バロックの音楽：絶対王政・激情・オペラ 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (1)</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>【講義】 作品研究 I 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (2)</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>【講義】 古典派の音楽：啓蒙思想と「芸術の誕生」 【演習】 映像のための音楽制作 Type-C</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>【講義】 ロマン主義と音楽：無限・超越への思想 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け1</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>【講義】 モダニズムを越えて 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け2</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>・制作日 ・課題の仮提出（オープンキャンパス用展示作品選出と、講評前の事前審査を目的とする第1回目の提出）</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>オープンキャンパス公開講義 『学生作品講評』（予定）</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>・制作日 ・課題の本提出（採点を目的とする第2回目の提出）</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>・全体講評</td> </tr> </table>	第1週	【講義】 物語映像において何故音楽が必要か 【演習】 音楽制作環境(DAW) "Logic"の基本操作、楽譜の読み方について	第2週	【講義】 古代ギリシャの音楽：「幻の規範」または学問としての音楽 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (1)	第3週	【講義】 中世の音楽：単旋律から複旋律への試み 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (2)	第4週	【講義】 バロックの音楽：絶対王政・激情・オペラ 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (1)	第5週	【講義】 作品研究 I 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (2)	第6週	【講義】 古典派の音楽：啓蒙思想と「芸術の誕生」 【演習】 映像のための音楽制作 Type-C	第7週	【講義】 ロマン主義と音楽：無限・超越への思想 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け1	第8週	【講義】 モダニズムを越えて 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け2	第9週	・制作日 ・課題の仮提出（オープンキャンパス用展示作品選出と、講評前の事前審査を目的とする第1回目の提出）	第10週	オープンキャンパス公開講義 『学生作品講評』（予定）	第11週	・制作日 ・課題の本提出（採点を目的とする第2回目の提出）	第12週	・全体講評
第1週	【講義】 物語映像において何故音楽が必要か 【演習】 音楽制作環境(DAW) "Logic"の基本操作、楽譜の読み方について																								
第2週	【講義】 古代ギリシャの音楽：「幻の規範」または学問としての音楽 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (1)																								
第3週	【講義】 中世の音楽：単旋律から複旋律への試み 【演習】 映像のための音楽制作 Type-A (2)																								
第4週	【講義】 バロックの音楽：絶対王政・激情・オペラ 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (1)																								
第5週	【講義】 作品研究 I 【演習】 映像のための音楽制作 Type-B (2)																								
第6週	【講義】 古典派の音楽：啓蒙思想と「芸術の誕生」 【演習】 映像のための音楽制作 Type-C																								
第7週	【講義】 ロマン主義と音楽：無限・超越への思想 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け1																								
第8週	【講義】 モダニズムを越えて 【演習】 関連授業で制作した各自の15秒アニメーション作品に対する音楽付け2																								
第9週	・制作日 ・課題の仮提出（オープンキャンパス用展示作品選出と、講評前の事前審査を目的とする第1回目の提出）																								
第10週	オープンキャンパス公開講義 『学生作品講評』（予定）																								
第11週	・制作日 ・課題の本提出（採点を目的とする第2回目の提出）																								
第12週	・全体講評																								
到達目標	物語映像において音楽が寄与する機能の可能性を理解すること。そして、簡単な音楽であれば自ら音楽制作を行えるようになること。																								
授業以外の学習方法 (予習・授業準備・復習等)	講義で触れた名作等については、図書館等で再度鑑賞するなどして自分なりに消化したい。又、課題制作にかける時間は、演習時間のみでは足りないので、空いた時間を有効利用して各自で積極的に進めておくこと。																								

履修者への注意事項	
評価方法	提出課題の評価点(70%)、発言等の授業貢献度(20%)、問題を自ら解決していこうとする前向きな受講姿勢(10%)
テキスト	
参考文献・参考作品	<p>[DVD]</p> <ul style="list-style-type: none">・映画『ベニスに死す』L.ヴィスコンティ(監督)、1971年製作。・バレエ『くるみ割り人形』P.チャイコフスキー(作曲)、1892年初演。・ギリシャ悲劇『オイディップス王』蜷川幸雄(演出)、野村萬斎(主演)、2004年アテネ公演。 <p>[文献]</p> <ul style="list-style-type: none">・岡田暁生『西洋音楽史—「クラシック」の黄昏』東京：中公新書、2005年。・D.ボードウェル & K.トンプソン『[フィルム・アート]—映画芸術入門』名古屋：名古屋大学出版会、2007年。・菅原教夫『現代アートとは何か』東京：丸善ライブラリー、1994年。
参考リンク	

 シラバス検索TOPへ戻る  検索結果一覧へ戻る  ページ先頭へ戻る